

保護者・教職員比較結果
平成27年度学校評価

都留市立宝小学校

☆ 評価

A: と思う B: ややと思う C: ややそう思わない D: そう思わない

※ A~Dの当てはまる欄に、○を記入してください。

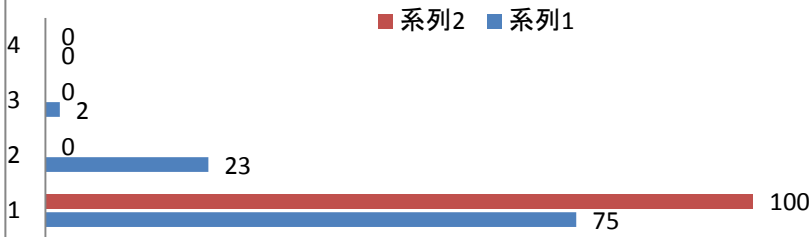
単位: %

	評価項目		評価欄			
			A	B	C	D
1	お子さんにとって、学校は楽しいところになっていると思いますか。	保護者	75	23	2	0
		教職員	100	0	0	0
2	お子さんは、学校で一生懸命学習に取り組んでいると思いますか。	保護者	65	32	3	0
		教職員	50	50	0	0
3	計算や漢字など、基礎的・基本的な学力が身につけていると思いますか。	保護者	54	38	6	2
		教職員	10	80	10	0
4	お子さんは、家庭学習(宿題や課題)を忘れずにしていますか。	保護者	63	26	9	2
		教職員	22	78	0	0
5	先生方の授業は、分かりやすいと思いますか。	保護者	69	28	1	2
		教職員	67	33	0	0
6	先生方は、子どものことを良く理解していると思いますか。	保護者	68	27	3	2
		教職員	50	50	0	0
7	先生方は、楽しい学級づくりをしていると思いますか。	保護者	78	20	2	0
		教職員	63	37	0	0
8	集団登下校は、子どもの交通安全や不審者対策に役立っていると思いますか。	保護者	81	16	1	2
		教職員	90	10	0	0
9	お子さんは、安全に気をつけて集団登下校を行っていると思いますか。	保護者	71	27	2	0
		教職員	30	70	0	0
10	お子さんは、朝ご飯を食べて登校していますか。	保護者	90	8	2	0
		教職員	60	20	20	0
11	学校には、気軽に話せたり相談に応じてくれる人がいますか。	保護者	68	26	6	0
		教職員	70	30	0	0
12	運動会・祖父母教室・図書館開放などの学校行事は、子どもたちにとって魅力のあるものとなっていると思いますか。	保護者	79	19	2	0
		教職員	100	0	0	0
13	授業参観や学校行事は、子どもの様子を知る良い機会となっていると思いますか。	保護者	88	11	1	0
		教職員	90	10	0	0
14	学年・学校だより、ホームページ等で学校のことがよく伝わっていますか。	保護者	69	26	5	0
		教職員	90	10	0	0
15	朝読書や基礎・基本の時間(昼学習)、放課後補充学習は学力向上に役立っていると思いますか。	保護者	65	29	6	0
		教職員	90	10	0	0
16	地域人材や地域環境が教育活動に活かされていると思いますか。	保護者	59	37	4	0
		教職員	90	10	0	0
17	ご家庭では、お子さんの「しつけ」に力を入れていると思いますか。	保護者	41	56	3	0
		教職員	20	70	10	0
18	ご家庭では、学年に応じてお手伝いをさせていると思いますか。	保護者	41	45	13	1
		教職員	10	90	0	0
19	ご家庭では、お子さんに地域の人と出会ったら挨拶するように指導していますか。	保護者	76	19	5	0
		教職員	30	50	20	0
20	PTA活動や授業参観には、進んで参加していますか。	保護者	75	22	2	1
		教職員	100	0	0	0
21	1年間をとおして、学校開放日にお子さんといっしょに学校の図書館を利用しましたか。	保護者	11	14	15	60
		教職員	11	23	33	33

※ 系列1青:保護者 系列2赤:教職員 左数値の1:A 2:B 3:C 4:D回答

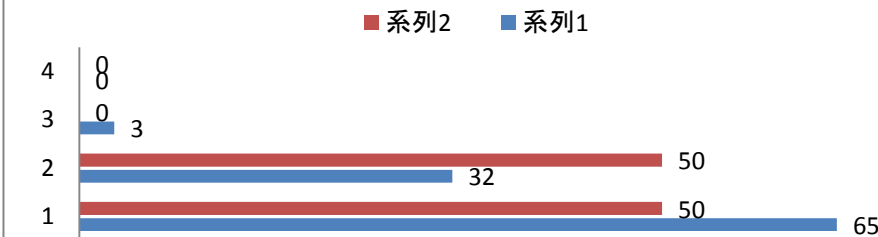
【比較・成果・努力課題】

1 学校が楽しい



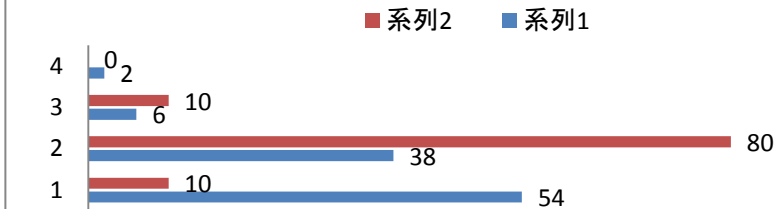
「学校が楽しい」と感じている教職員の数値は、Aが100%であるのに対し、保護者ではAが75%、Bが23%である。Cの2%を無くせるよう、さらに魅力ある学校行事や児童会活動の取り組み実施など工夫していきたい。

2 一生懸命取り組む



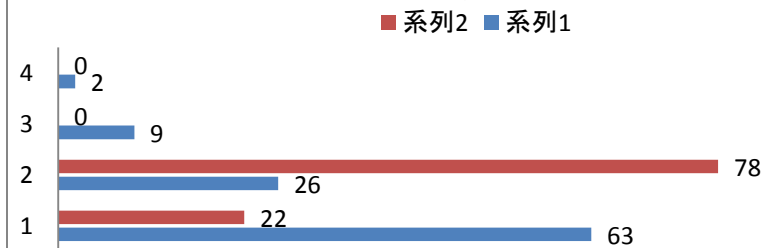
「学校で学習に一生懸命取り組んでいるか」では、Aについて保護者の方が教職員をかなり上回り、一生懸命学習に取り組んでいると観ている。ややそう思わない3%を無くせるよう努力していきたい。このため、課題の設定について、スモールステップにし、認め・ほめる場面の設定などの工夫した取り組みをしていく。

3 基礎的な学力



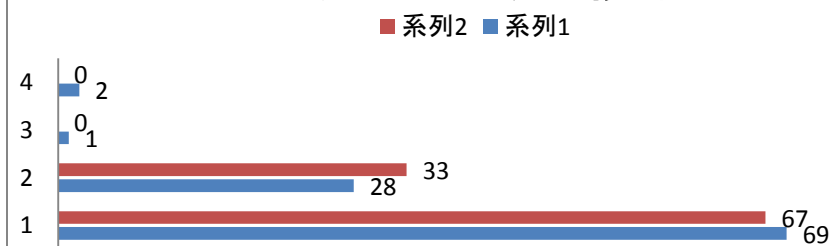
「計算や漢字など基礎的な学力」については、教職員のA「そう思う」については10%と低いのにに対し、保護者は半数以上の54%が「そう思う」である。C・Dの児童について今後は、個に合わせた課題なども出し一人一人のできる力を伸ばし、上を目指した指導の継続をしていきたい。

4 家庭学習



「家庭学習」については、保護者の見方と教職員との見方にかかなりのずれがある。今後、学校と家庭とで連携し、このずれを無くすよう努力していきたい。また、都留市で「家庭学習の手引き」を作成しているところなので、今後、これらを活用していく予定である。

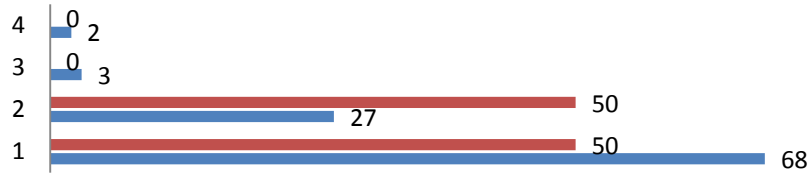
5 分かりやすい授業



「先生の授業が分かりやすい」と思っている数値は、ほぼ同じである。保護者から観たC・Dの児童を含め、学校としてより一層、資料の準備や手立て等研究し、分かりやすい授業をしていく必要がある。

6 子ども理解

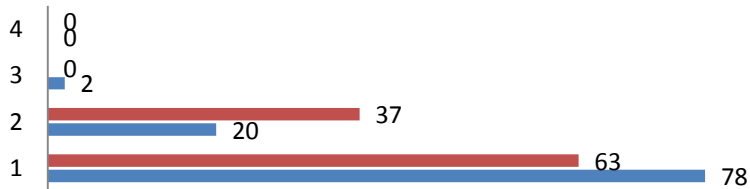
■ 系列2 ■ 系列1



「子ども理解」については、Aのそう思う保護者が、およそ70%であるのに対し、教職員は50%と半数である。今後、教職員が一人一人の児童としっかり向き合い子供理解に努めて行かなければならないと考える。

7 楽しい学級づくり

■ 系列2 ■ 系列1



「楽しい学級づくり」については、保護者の評価が高くありがたい。ただ、2%の保護者がそう思っていない現状をふまえ、各学級活動を見直す中でさらに「楽しい活力ある学級」になるよう努力していかなければならない。

8 集団登下校が役立つ

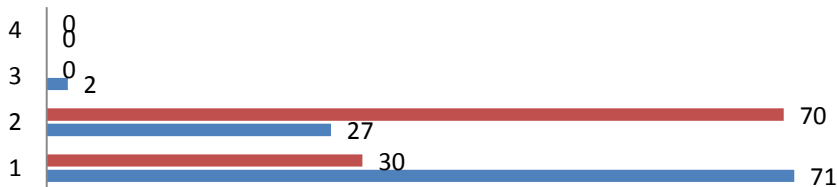
■ 系列2 ■ 系列1



「集団登下校は、交通安全や不審者対策に役立っている」と思う数値は、保護者・教職員共に非常に高く、今後もスクールガードの皆さん協力を得ながら継続指導をしていきたい。

9 安全な集団登下校

■ 系列2 ■ 系列1



「安全に気をつけて、集団登下校をしているか」については、保護者と教職員の思いにかなりのギャップがある。交通事故などから児童の命にも関わることなので、安全な集団登下校ができるよう継続指導していく必要がある。

10 朝食を食べる

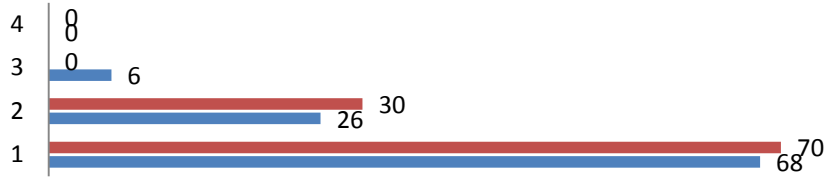
■ 系列2 ■ 系列1



「朝食を食べて登校している」については、保護者はほとんどがそうさせているとの回答だが、教職員はあまり、そう思っていない。朝食を食べてはいるが、しっかり食べていないのではないかと考えているのではないのだろうか。今後、家庭と連絡をとる中で指導していきたい。

11 学校は気軽に相談できる

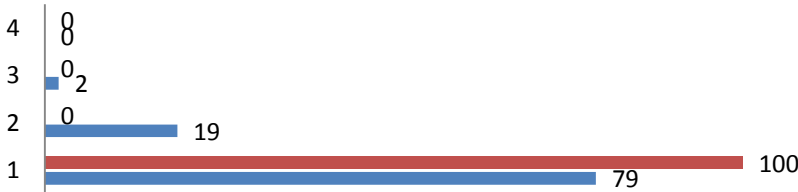
■ 系列2 ■ 系列1



「学校は気軽に話せたり、相談に応じてくれる人がいる」との回答については、保護者・教職員ともほぼ同数値であるが、Cの「ややそう思わない」保護者が6%いる。今後、さらに気軽に相談できる雰囲気づくりをしていきたい。

12 行事は魅力あるものと

■ 系列2 ■ 系列1



「運動会や祖父母教室などの学校行事は、魅力あるものとなっているか」については、Aのそう思う保護者が約80%に対し、教職員は100%と非常に高い評価をいただいた。行事反省をふまえてさらに魅力ある行事になるよう努力していきたい。

13 授業参観等は様子を知るよい機会

■ 系列2 ■ 系列1



「授業参観や学校行事は、子供の様子を知る良い機会となっているか」については、保護者・教職員とも約90%がそう思っている。今後もこのような機会をしっかりとっていきたい。

14 学校のことがよく伝わる

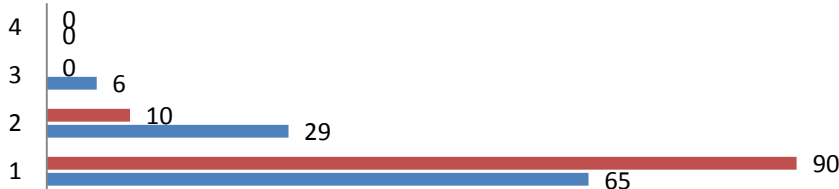
■ 系列2 ■ 系列1



「学年・学校だより、ホームページなどで学校のことが良く伝わっているか」については、Aのそう思うでは保護者と教職員とで約20%の思いの違いがあった。今後、より一層学校のことが伝わるよう、きめ細かく対応していきたい。

15 朝読書等は学力向上に

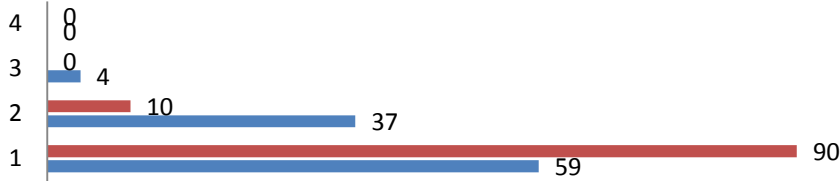
■ 系列2 ■ 系列1



「朝読書や基礎・基本の時間、放課後補充学習は学力向上に役立っているか」については、教職員が思っているほど、保護者はそう感じていない。今後、この成果が感じられるよう学校でしっかり指導していく必要がある。さらに、家庭とも連携して読書習慣の定着を図りたい。

16 人材等が教育活動に生かされる

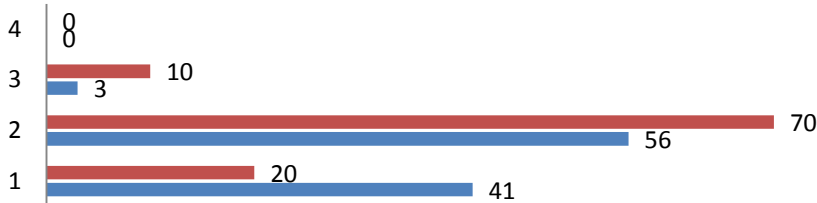
■ 系列2 ■ 系列1



「地域人材や地域環境が教育活動に生かされているか」については、Aのそう思うをみると、保護者と教職員の間で、約30%の開きがある。地域人材等かなり活用しているのだが、このことが保護者にあまり伝わっていないのではないかと？学年・学校だより等で今後しっかり伝えていきたい。

17 「しつけ」に力を入れている

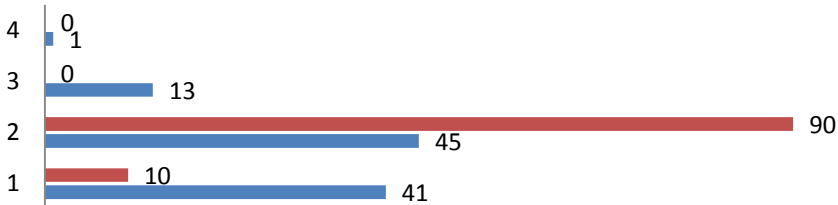
■ 系列2 ■ 系列1



「しつけに力を入れているか」については、保護者の数値もわりと低く、教職員の思いも低い。今後、家庭と学校とで協力して、子どもたちのよりよい成長をめざし支援・指導していく必要がある。時間があれば、授業参観後の学年委員会での話題とし「しつけ」について学習できるとよい。

18 お手伝いをさせている

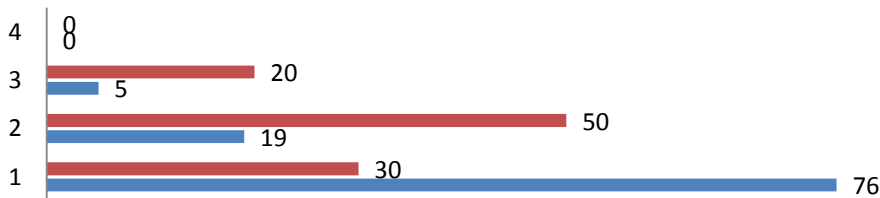
■ 系列2 ■ 系列1



「学年に応じてお手伝いをさせているか」については、Aのそう思うと言い切れない保護者や教職員が多い。今後、学年懇談会などで、お手伝いなど話題にあげて話し合っていきたいと考えている。

19 地域の人に挨拶

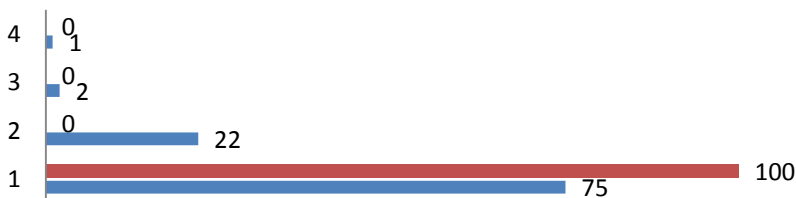
■ 系列2 ■ 系列1



「地域の人に会ったら、挨拶するよう指導しているか」については、保護者と教職員の間にかなりの思いの開きがある。学校でも挨拶運動の取り組みをしているが、挨拶の声が小さかったり、自分から進んで先に挨拶したりするなどできていない。今後も、学校と家庭とで連携して指導していきたい。

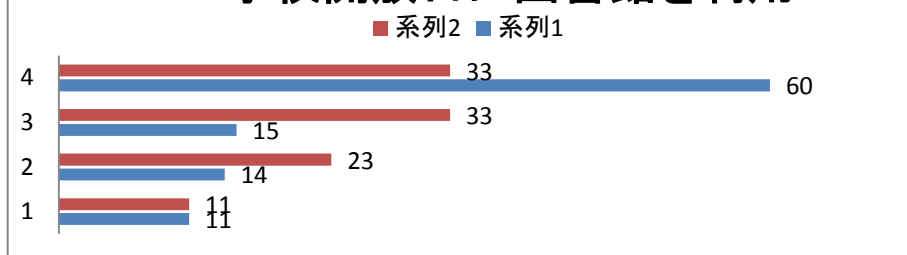
20 PTAや授業参観への参加

■ 系列2 ■ 系列1



「PTA活動や授業参観には、進んで参加していますか」については、保護者の4分の3がAのそう思うのに対し、教職員は100%がそう思っている。忙しい中、時間をさいてPTA活動や授業参観に来ていただき、ありがたい。

21 学校開放日に図書館を利用



「学校開放日に子供と一緒に図書館を利用したか」については、Aの「そう思う」と回答した保護者・教職員共に11%とアンケートの中でも最低の数値である。土曜が学校開放日になっているが、スポ少に参加する児童も多く、しかたがないのかなと思う。都合が合った時でかまわないので、ぜひ学校開放日の図書館利用をお願いしたい。

【まとめ】 ～保護者の皆様にご回答いただきました学校評価アンケートの結果より～
学校に対し、保護者の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただいていることを推察することができました。アンケート項目において、全体的にはAの「そう思う」とBの「ややそう思う」を合わせると大変素晴らしい評価を頂いたと思います。ただ、私たち教職員はこの結果に満足することなく、宝小の子どもたちのために今後も尽力していく所存です。これからもより一層学校と保護者の皆様と共に手を携えて、子どもたちのよりよい成長のために頑張りますのでよろしくお願いいたします。

学校の教育活動向上のための保護者の皆様からの意見・感想等

- ・集団下校の特、バラバラに歩いている時があり、高学年が先で低学年がだいぶ離れて歩いているのを見る時があります。集団下校の意味がないと思います。
- ・PTA活動について、保護者の間で学区外だけ地区委員会がなく、PTA役員免除なのは不公平だという声を耳にしました。PTA会則にもある通り、全ての保護者に義務があり、役員決めも平等であるべきです。少子化になってきているので早急に対処し、次年度からは保護者全員で役員を選出するようにしていきたいです。
- ・校長先生の“自己肯定感を育む”姿勢が素晴らしいと思います。
- ・気持ちにゆとりを持って児童たちに接してもらいたいので、先生方の仕事(事務的なこと)をなるべく減らしてもらいたいです。今の先生方はとても忙しそうで気のどくになります。ゆとりがあって、自由な発想で取組んでもらえたらとてもうれしいです。
- ・小さな成功体験をさせ、たくさんほめてもらいたいです。
- ・以前も提案がありましたが、授業参観を高・低学年一緒の日、一緒の時間で行えると助かります。

※ 以上、学校の教育活動上のためのご意見・ご感想ありがとうございました。なお、この他にも個に関わるご意見もいただきましたが、ここには全体に関わるご意見を掲載させていただきました。今後、学校としましてもこれらのご意見等を参考にさせていただき、上記各評価項目のより一層の改善を図り努力してまいります。今後とも学校に対しご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

